

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,720	△2.1	173	24.7	170	25.3	106	19.3
26年3月期第2四半期	2,778	6.6	139	23.0	136	34.0	89	51.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.87	—
26年3月期第2四半期	20.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	5,929	3,152	53.2	708.19
26年3月期	6,088	3,073	50.5	690.44

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,152百万円 26年3月期 3,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭(創業40周年記念配当)

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	3.4	330	3.7	315	0.3	200	3.6	44.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	4,558,860 株	26年3月期	4,558,860 株
27年3月期2Q	107,697 株	26年3月期	107,697 株
27年3月期2Q	4,451,163 株	26年3月期2Q	4,451,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	（1） 経営成績に関する説明	1
	（2） 財政状態に関する説明	1
	（3） 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等	2
4	四半期財務諸表	3
	（1） 四半期貸借対照表	3
	（2） 四半期損益計算書	4
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	（4） 四半期財務諸表に関する注記事項	6
	（継続企業の前提に関する注記）	6
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
	（セグメント情報等）	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間における国内経済は、これまでの金融緩和をはじめとした景気刺激策の効果による雇用・所得環境の改善が見られる一方、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、需要の伸びが低迷するなど先行きの不透明な状況が続いております。

臨床検査薬業界におきましては、診療報酬改定等の医療費政策の実施や市場での価格競争等、厳しい状況は継続しておりますが、当社におきましては、収益確保に向けた対策を継続してまいりました。

このような環境の下、当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、27 億 2 千万円（前年同期比 2. 1%減）となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、腎機能検査薬や肝機能検査薬が堅調に推移したことにより 8 億 3 千 6 百万円（前年同期比 0. 3%減）となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬が堅調に推移する一方、アレルギー診断薬が価格競争及び季節変動等の影響により 16 億 6 千万円（前年同期比 4. 0%減）となりました。

また、その他の分野におきましては、遺伝子関連項目が堅調に推移したことにより 2 億 2 千 3 百万円（前年同期比 6. 7%増）となりました。

この結果、営業利益につきましては、1 億 7 千 3 百万円（前年同期比 2 4. 7%増）、経常利益につきましては、1 億 7 千万円（前年同期比 2 5. 3%増）となり、四半期純利益につきましては、1 億 6 百万円（前年同期比 1 9. 3%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 2 四半期累計期間 〔自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日〕		当第 2 四半期累計期間 〔自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	791,225	28.5	788,653	29.0
	免疫血清学的検査用試薬	282,735	10.2	382,327	14.1
	そ の 他	192,644	6.9	219,190	8.1
	計	1,266,605	45.6	1,390,172	51.1
商 品	生化学的検査用試薬	47,819	1.7	48,044	1.8
	免疫血清学的検査用試薬	1,447,351	52.1	1,277,779	47.0
	そ の 他	17,136	0.6	4,656	0.2
	計	1,512,308	54.4	1,330,480	48.9
合 計	生化学的検査用試薬	839,044	30.2	836,697	30.8
	免疫血清学的検査用試薬	1,730,086	62.3	1,660,106	61.0
	そ の 他	209,781	7.5	223,847	8.2
	計	2,778,913	100.0	2,720,652	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期会計期間末における総資産の額は、59 億 2 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 5 千 8 百万円の減少となりました。流動資産は 28 億 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 7 千 7 百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金が 9 千 9 百万円、商品及び製品をはじめとした棚卸資産が 2 千 5 百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が 2 億 8 千 8 百万円減少したことによります。固定資産は 31 億 2 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 千 9 百万円の増加となりました。その主な要因は、減価償却費 6 千 4 百万円を計上したものの、IT 及び事務用機器関連の取得及び笠間事業所内駐車場整備などにより 8 千 2 百万円増加したことによります。

当第 2 四半期会計期間末における負債の額は、27 億 7 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 3 千 7 百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金が 1 千 8 百万円増加したものの、支

払手形及び買掛金が 2 億 3 千万円、未払法人税等が 1 千 4 百万円減少したことなどによります。

当第 2 四半期会計期間末における純資産の額は、31 億 5 千 2 百万円となり、前事業年度末と比べ 7 千 8 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金 3 千 3 百万円の支払いを行なった一方で、四半期純利益 1 億 6 百万円を計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は 9 億 2 千 2 百万円となり、前事業年度末と比べ 9 千 9 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は 1 億 6 千万円の増加（前年同期は 1 億 9 千 6 百万円の増加）となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 2 億 3 千万円、法人税等の支払額 6 千 6 百万円、たな卸資産の増加 4 千 8 百万円などの支出によりそれぞれ減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 1 億 6 千 3 百万円、減価償却費 6 千 4 百万円、売上債権の減少 2 億 8 千 8 百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は 1 千万円の支出（前年同期は 1 千 3 百万円の支出）となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 6 百万円及び無形固定資産の取得 5 百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は 4 千 9 百万円の支出（前年同期は 6 千万円の支出）となりました。その主な減少要因は、配当金の支払額 3 千 3 百万円などの支出によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、金融緩和及び公共投資促進等の景気対策効果によって緩やかに回復していくものと予想されますが、消費税率引き上げの反動による影響懸念もあり、その先行きは不透明な状況のなかで推移するものと思われまます。

また、臨床検査薬業界におきましても医療費抑制政策及び市場での価格競争等から、厳しい状況は継続するものと予想されます。

第 3 四半期以降につきましては、平成 26 年 5 月 9 日付「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」でお知らせしました通期業績の予想は、変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,079	1,262,910
受取手形及び売掛金	1,318,590	1,029,835
商品及び製品	205,267	206,749
仕掛品	41,614	92,900
原材料及び貯蔵品	161,394	134,388
その他	95,460	81,128
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,982,507	2,805,013
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	750,566	728,979
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	148,440	192,388
有形固定資産合計	2,750,460	2,772,820
無形固定資産	47,436	38,823
投資その他の資産	307,652	313,233
固定資産合計	3,105,549	3,124,877
資産合計	6,088,056	5,929,890
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,038,382	807,708
短期借入金	960,000	960,000
未払法人税等	73,254	58,741
賞与引当金	100,538	119,000
その他	350,956	324,968
流動負債合計	2,523,132	2,270,419
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
その他	91,645	107,223
固定負債合計	491,645	507,223
負債合計	3,014,777	2,777,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,381,269	1,454,117
自己株式	△90,510	△90,510
株主資本合計	3,050,905	3,123,753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,373	28,493
評価・換算差額等合計	22,373	28,493
純資産合計	3,073,279	3,152,247
負債純資産合計	6,088,056	5,929,890

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	2,778,913	2,720,652
売上原価	1,855,842	1,741,906
売上総利益	923,071	978,746
販売費及び一般管理費	783,954	805,243
営業利益	139,116	173,503
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,621	3,944
受取賃貸料	2,737	—
為替差益	—	929
その他	4,201	1,994
営業外収益合計	10,560	6,868
営業外費用		
支払利息	9,328	7,731
手形売却損	534	461
為替差損	1,843	—
賃貸費用	17	8
その他	1,735	1,542
営業外費用合計	13,457	9,745
経常利益	136,219	170,626
特別損失		
固定資産除却損	135	7,111
特別損失合計	135	7,111
税引前四半期純利益	136,083	163,515
法人税、住民税及び事業税	34,150	52,983
法人税等調整額	12,900	4,300
法人税等合計	47,050	57,283
四半期純利益	89,033	106,231

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	136,083	163,515
減価償却費	66,185	64,174
売上債権の増減額 (△は増加)	291,802	288,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	70,008	△48,508
仕入債務の増減額 (△は減少)	△249,927	△230,673
その他	△36,182	△5,448
小計	277,969	231,813
利息及び配当金の受取額	4,841	3,910
利息の支払額	△9,863	△8,361
法人税等の支払額	△76,853	△66,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,094	160,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,890	△6,356
無形固定資産の取得による支出	—	△5,163
その他	△1,109	611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,999	△10,908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△112,500	△200,000
配当金の支払額	△33,508	△33,467
その他	△14,232	△16,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,241	△49,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,857	99,831
現金及び現金同等物の期首残高	655,530	823,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	777,387	922,910

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。